

## 2023年度（令和5年度）4教科指導重点目標

{ 国語 }

テーマ「言語活動を通じて、読解力・表現力を育成する」

### 1. テーマへの取り組み

#### ①語彙力をつける。

- ・辞書を使いこなす。
- ・言葉のスピーチを行う。

3年：慣用句

4年：ことわざ、故事成語

5年：四字熟語

6年：上記全て

#### ②表現力をつける。

- ・その場にあった声の大きさ、速さで話す。
- ・最後まで自分の言葉で話せるようにする。
- ・自分の思いを言葉で表現できるように意識していく。
- ・朝の会、帰りの会でスピーチを行う。

→1・2年…1分間スピーチ、本の紹介

3年…1分間スピーチ、言葉のスピーチ

4～6年…ニュースの紹介、言葉のスピーチ

#### ③漢字小テストを実施し、漢字力の向上を図る。

#### ④読書指導

- ・図書室を活用する。

### 2. 副教材

- ・漢字ドリル（全学年）
- ・ONLY ONE（4年）
- ・練成テキスト（5、6年）

## { 社会 }

テーマ 「基礎・基本の学習の確実な定着と発展学習を通して、自ら学ぶ意欲を育て、幅広い知識を習得する」

- ・基礎基本の定着を確実に図る。
- ・授業の中に社会科関連の豆知識を入れ、興味関心を高める。
- ・資料から読み取る力、資料を活用する力を付ける。
- ・本物を見て触れることにより学習意欲を高める。

### 1. 各学年で指導する発展学習内容

3 学年・・・地図記号を覚え、全国の都道府県名をひらがなで書けるようにする。

4 学年・・・全国都道府県名、県庁所在地名、8 地方名を漢字で書く。

(学習進度は教科書の進度で千葉県、成田市の学習をする。)

5 学年・・・問題集(標準新演習)を使って知識を増やす。

6 学年・・・問題集(標準新演習)を使って知識を増やす。

1 2 月より附属中入試に向けた学習を行う。

### 2. 力をつけるために問題集、副教材を使用する。

3 学年・・・インターネットで無料で使えるプリントを活用する。

4 学年・・・全国都道府県名、県庁所在地名、8 地方名の学習でインターネットで無料で使えるプリントを活用する。

5 学年・・・標準新演習社会小5、社会科資料集

6 学年・・・標準新演習社会小6、社会科資料集

※全学年、アプリを使って自分で学習する。

### 3. 社会科校外学習(予定)

3 学年・・・学校周辺探検、スーパーマーケットイオン、日本食研工場見学、房総の村

4 学年・・・成田消防署・成田富里いずみ清掃工場、リサイクルプラザ、銚子漁港(市場) 醤油工場、伊能忠敬記念館

5 学年・・・製鉄所・成田空港

6 学年・・・国会議事堂等、(東京高等検察庁)、(租税教室)、(平和学習会)、「みらいく」選挙教育、

{ 算数 }

テーマ 「基礎基本の定着と、思考力の育成」

～互いに学び合う活動を通して～

1. 一人一人の児童の実態に応じたきめ細やかな指導を行う。

1～3年生・・・TT（ティームティーチング）指導

4～6年生・・・少人数指導

2. 学び合う力を育てるために、以下の手立てを講じる。

①学習過程の主に「比較検討」の場面で、お互いの考えを共有し合う中で、考えを深化させたり、自分の考えが相手に伝わるように話す力を向上させたりする。

②学習過程の主に「自力解決」の場面で、よい解決方法を見出せない児童が、友達の考えを聞くことで思考の一助とし、自分の考えを持つことができるようにする。

③学習過程の主に「適用」の場面で、早く終わった児童が教え役となり、終わっていない児童への助言を行う。

★4～6年生は、iPadを有効活用する。

3. 毎週1回の「計算タイム」を活用し、計算力の向上を図る。

4. 副教材を活用して、基礎基本の定着と発展力を養う。

1年生 くりかえし計算ドリル 計算ばっちりノート  
さんすうの力

2年生 書き込み計算スキルアップ  
くりかえし計算ドリル 計算ばっちりノート

3年生 くりかえし計算ドリル 計算ばっちりノート

4年生 くりかえし計算ドリル 7級・6級計算基本トレーニング

5年生 ピラミッドWeb付 5級・4級計算基本トレーニング

6年生 ピラミッドWeb付 3級・2級計算基本トレーニング

{ 理科 }

テーマ「実験・観察の充実を図り、科学的なものの見方・考え方を身に付けさせる」

1. 今年度の重点

○実験・観察の充実する

- ・実物、本物に触れる。実際にやってみることを大切にする。
- ・実験の手順、観察の視点等をしっかりと理解させてから取り組ませる。
- ・必ず予想を立てさせ、実験結果との比較検討を行う。

○生活や身の周りの自然との関連を意識させる

- ・予想の根拠を、児童の生活体験と結び付けて考えさせる。

○ICT 機器を有効に活用する

- ・視聴覚教材（デジタル教科書・NHK for school）を積極的に活用する。
- ・4～6年生は、調べ活動、実験観察の記録等に iPad を活用する。

○5・6年生では、発展学習・入試指導を充実させる。

※3・4年生は、学年配当の単元を、時間をかけ丁寧に指導する。実験や観察・観測を充実させ、実体験を伴った理解を目指す。中学年では、基礎基本の確実な定着と、理科学習の流れや科学的なものの見方・考え方の素地を養うことに重点を置く。

※5・6年生は、入試対策を授業の中で行う。

2. 力をつけるための問題集・副教材を使用する

5年生・・・マイクエスト5年理科（問題集）

6年生・・・マイクエスト6年理科（問題集）

3. 必要に応じて、児童個々に観察・実験セットを購入させ、より効果的な学習活動を目指す。